

熊本大学田中尚人准教授とのコラボ授業（国際経済科3年）

本日（10月26日）、国際経済科3年生のC英IIで、熊本大学准教授の田中尚人先生が講義をしてくださいました。現在、Lesson6 *Nature for the Next Generation* では自然を次世代に残すにはどのようにすべきについて学んでいます。このレッスンのアウトプット活動として、『熊本の水を次世代に残そう』をテーマに英語で発表することになっています。そこで、日頃からYWFK（ユース水フォーラム熊本）による「熊本の水文化ゼミ」でお世話になっている熊本大学大学院先端科学研究部准教授の田中尚人先生に、文化的景観など先人からの遺産を、次世代に残すために私たちが大事にすべき観点についてお話していただきました。田中先生ご自身の専門的な視点から「残す」ことの意味について、わかりやすく教えていただきました。「不易流行」という言葉が特に印象的で、時代が変わっても変えないものと変えるべきものの両者を意識しながら「残す」ことが大事だということを生徒たちは学びました。また、いろんな世代が知恵を出し合い、一緒に楽しみながら保全活動に携わっていくことも大事だそうです。今回学んだことをもとに、これから生徒たちは熊本の水をどのように「残す」かについて、若者ならではの発想でプレゼンを作成します。なお、11月に田中先生にプレゼンを見ていただく予定になっています。

